



報道機関各位

2018年10月15日

東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター 関谷直也

東京大学 大学院工学系研究科 廣井 悠

株式会社サーベイリサーチセンター

東京大学及び SRC による共同調査の調査結果について

大阪府北部地震（うわさ・流言）に関する調査

国立大学法人東京大学（本部：東京都文京区）と株式会社サーベイリサーチセンター（本社：東京都荒川区）は、「大阪府北部地震（うわさ・流言）に関する調査」を実施しました。

■調査の背景

2018年6月18日7時58分頃に発生した「大阪府北部地震」（最大震度6弱）において、地震発生後の近畿圏（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）でのうわさ・流言の拡がりの実態を探ることを目的として、調査を実施しました。

■調査結果のポイント

- ・うわさ・流言は主に「テレビ」と「Twitter」で拡散。「LINE」は主たる要因ではなかった。

「テレビ」、「Twitter」を媒介として、うわさ・流言が拡散されている。うわさ・流言を「LINE」で知ったという人は多くはない。SNSの中では、「Twitter」が最もうわさ・流言の拡散の要因となっていた。

- ・ライフラインや交通に関する流言は、拡がりやすかった。

人の生活に直結する、「断水」など、ライフラインや交通に関するうわさ・流言の他人への伝達率は高い。また、特に「箕面市全域の断水」のうわさ・流言は、見聞きした人の6割以上が信じていたことから、混乱をもたらしたことがわかる。

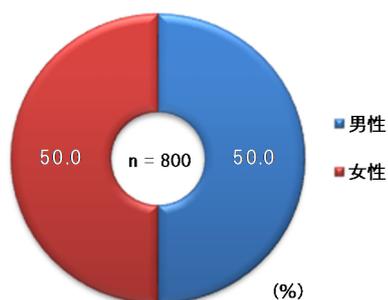
■調査概要

- ・調査地域：近畿圏（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県）
- ・調査対象：調査地域に居住する20歳以上の男女個人
- ・調査方法：インターネット調査
- ・有効回答：800サンプル
- ・調査期間：2018年8月23日（木）～2018年8月29日（水）

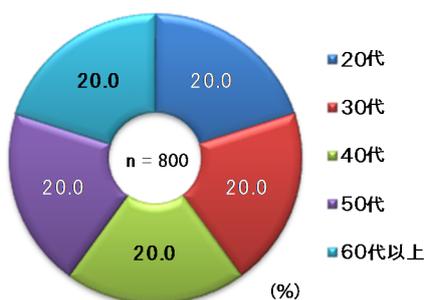
■調査結果

▼対象者の属性

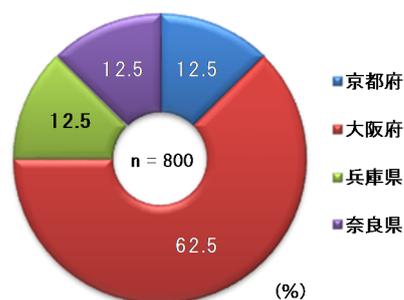
<性別>



<年代>



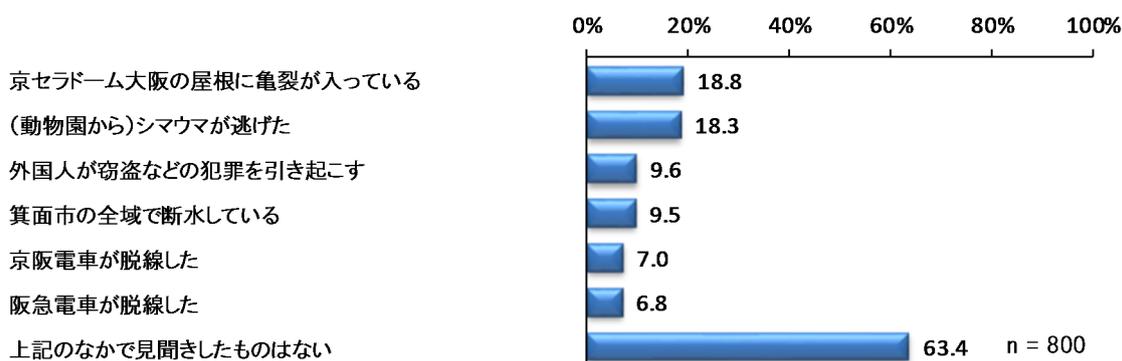
<居住地域>



▼見聞きしたうわさ・流言

「京セラドーム大阪の屋根に亀裂」「シマウマが逃げた」が2割近く

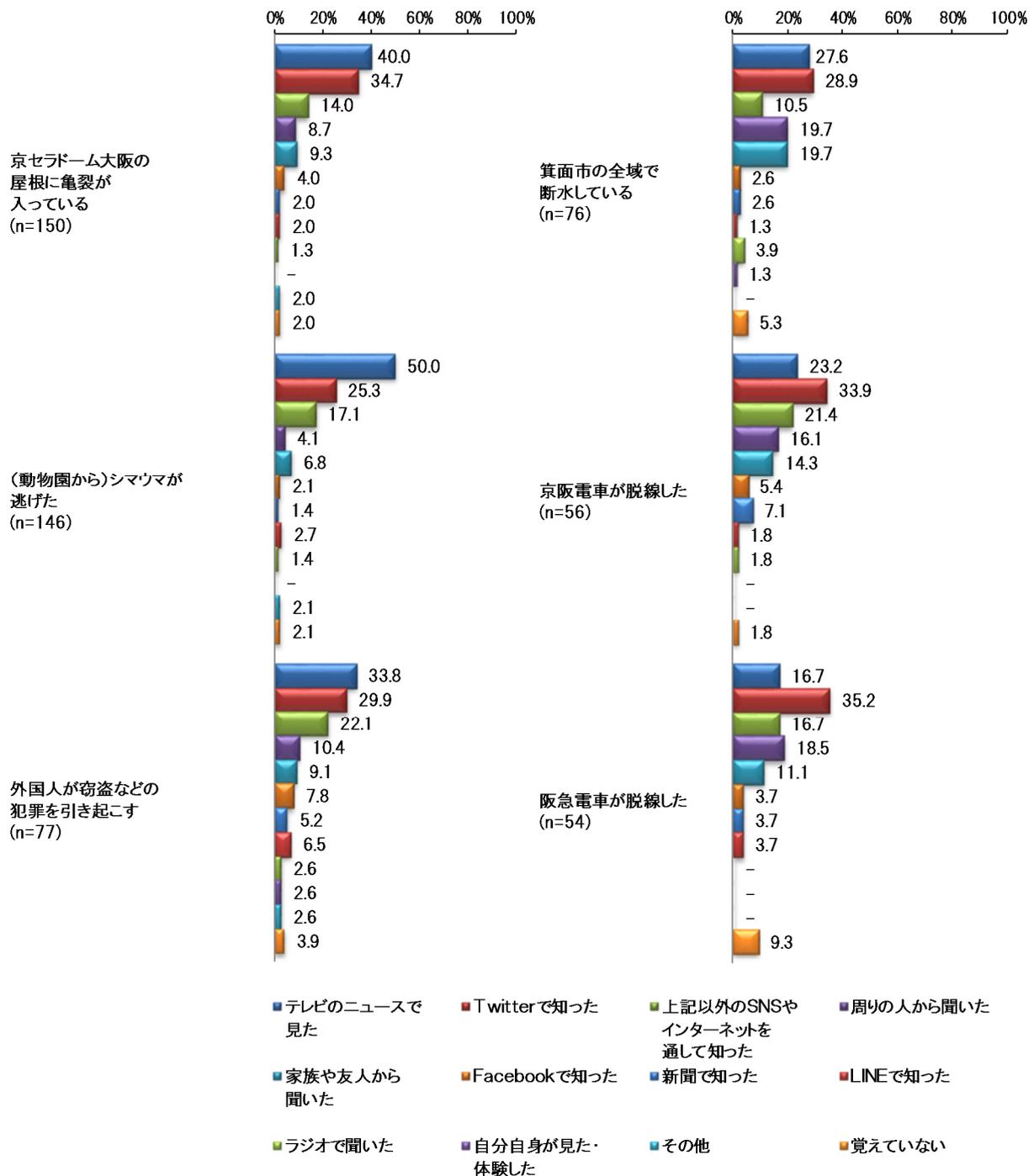
- ・大阪府北部地震発生後に広まったうわさ・流言を見聞きした人は3割以上となっている。
- ・見聞きしたうわさ・流言の具体的な内容は、「京セラドーム大阪の屋根に亀裂が入っている」「(動物園から)シマウマが逃げた」などとなっている。



▼見聞きしたうわさ・流言の拡散要因

うわさ・流言を知った主なメディアは「テレビ」と「Twitter」

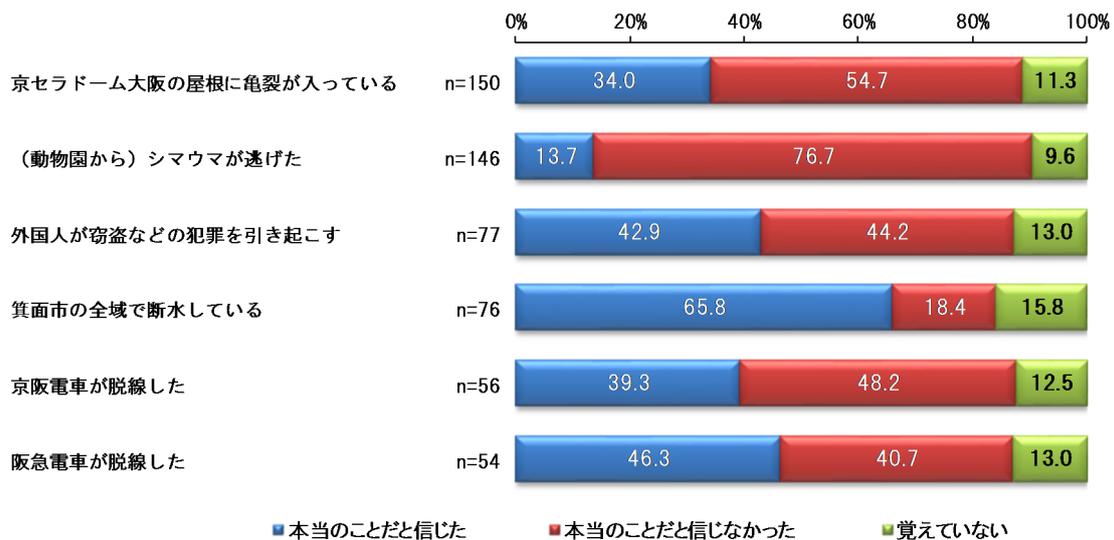
・いずれのうわさ・流言も、主に「テレビ」と「Twitter」から見聞きしている人が多い。シマウマが逃げた、京セラドーム大阪の屋根に亀裂、外国人が窃盗などの犯罪を引きこす、は「テレビ」が最も高く、阪急電車が脱線、京阪電車が脱線、箕面市の全域で断水、は「Twitter」が最も高くなっている。



▼見聞きしたうわさ・流言の真偽の判断

「箕面市の全域で断水」のうわさ・流言は見聞きした人の6割以上が信じる

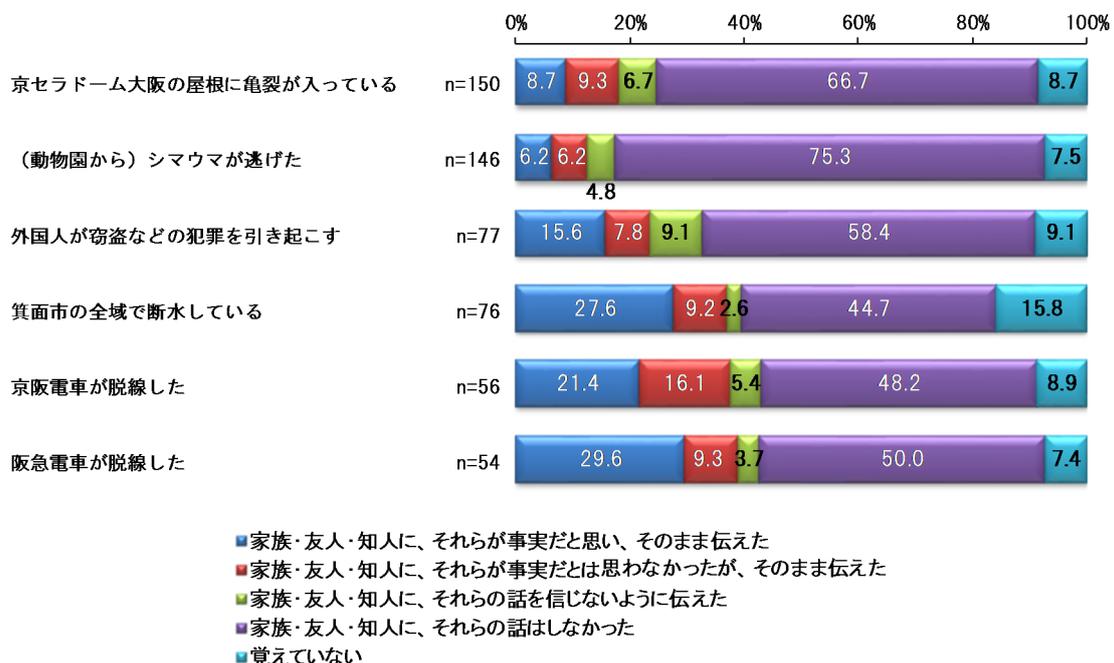
- ・箕面市の全域で断水といううわさ・流言を見聞きした人の6割以上が、そのうわさ・流言を「本当のことだと信じた」と答えている。以下、「本当のことだと信じた」割合の高いうわさ・流言は、阪急電車が脱線、外国人が窃盗などの犯罪を引き起こす、京阪電車が脱線の順となっている。
- ・箕面市の全域で断水、阪急電車が脱線、京阪電車が脱線といううわさ・流言を知ったメディアは、いずれも「Twitter」がトップであり、「Twitter」から入手したうわさ・流言も信憑性をもって受けとめられている場合がある。



▼見聞きしたうわさ・流言の他人への伝達

ライフラインや交通に関するうわさ・流言の他人への伝達率は高い

- ・京阪電車が脱線、阪急電車が脱線、箕面市の全域で断水、といったライフラインや交通に関するうわさ・流言では、見聞きしたうわさ・流言を、「家族・友人・知人」といった他人に伝えた割合が4割前後と高い。



■東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター 概要

- ・組織名 : 東京大学 大学院情報学環 総合防災情報研究センター
- ・研究者 : 関谷直也
- ・所在地 : 東京都文京区本郷7丁目3番1号
- ・連絡先 : naoya@iii.u-tokyo.ac.jp / 03-5841-5924

■東京大学 大学院工学系研究科 廣井研究室 概要

- ・組織名 : 東京大学 大学院工学系研究科 廣井研究室
- ・研究者 : 廣井悠
- ・所在地 : 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学工学部 14 号館 909 号室

■株式会社サーベイリサーチセンター 概要

- ・組織名 : 株式会社サーベイリサーチセンター
- ・所在地 : 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号
- ・設立 : 1975 (昭和50) 年2月
- ・資本金 : 6,000 万円
- ・年商 : 66 億円 (平成29年度)
- ・代表者 : 代表取締役 藤沢 昌樹、代表取締役副社長 長尾 健、代表取締役副社長 石川 俊之
- ・社員数 : 社員231名、契約スタッフ429名 合計660名 (平成30年3月1日現在)
- ・事業所 : 東京 (本社)、札幌、盛岡、仙台、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本、那覇
- ・所属団体 : 公益財団法人日本世論調査協会
一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 (JMRA)
日本災害情報学会など
- ・その他 : ISO9001 認証取得 (2000年6月)
プライバシーマーク付与認定 (2000年12月)
ISO20252 認証取得 (2010年10月)
ISO27001 認証取得 (2015年11月) ※

※認証区分及び認証範囲 : MR 部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供

全国ネットワーク部が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供

- ・URL : <https://www.surece.co.jp>
(本調査結果については <https://www.surece.co.jp/research/2666/>)
- ・連絡先 : 社会情報部 藁谷峻太郎
wara_s@surece.co.jp / 03-6826-5353

- 調査結果の内容については無断転載・複製を禁じます。
- 本調査は国立大学法人東京大学と株式会社サーベイリサーチセンターによる共同調査研究です。本文を引用される場合は、出典に「国立大学法人東京大学」及び「株式会社サーベイリサーチセンター」を明記してください。
- 報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。